

## TKC会員事務所関与先企業の親族外事業承継(M&amp;A)を支援しています(4)

## (株)TKCと(株)TBCが一体となった支援事例のご紹介

(株)TKCでは、TKC会員の関与先企業様を対象とした親族外事業承継(M&A)支援の専門部署として「中小企業事業承継支援部」を設立し、中小企業のM&Aにおいて豊富な経験とノウハウを持つ(株)TBCとの業務契約締結のもと、連携した活動を実施しています。会員先生からご相談いただいた支援事例をご紹介します。

## 【支援事例4】後継者不在の中小企業の事業承継対策

「優良企業ではあるものの、業界事情もあり将来への不安を感じ、第三者への承継を決定した関与先がいる。今後について一緒に相談に乗ってほしい」とのご相談の電話を会員先生よりいただきました。当該企業は部品製造業(研磨業)です。大手企業から特殊な材料を仕入れ、長年培ってきた技術とノウハウを活かし、特殊な精密加工

を強みとしており、関東に本社を、中国地方に工場を有する会社でした。

創業者である社長は80歳代で、取締役であるご子息への事業承継を予定していましたが、今後の業界動向や優秀な人材の確保が困難であること等を踏まえ、ご子息同意の上で第三者への株式譲渡を意思決定されたとのことでした。そこで会員先生同席のもとご子息と面談させていただき、M&Aのご意向をお持ちであることを伺い、そのご意向に沿って譲り受け企業の探索を開始しました。

事業の特殊性から、譲り受け企業の探索が非常に難航する中、当該企業仕入先である大手企業の元役員より、製造業人材派遣会社である買い手候補を紹介いただき、具体的な交渉が始まりました。

交渉における課題は①遠隔地(中国地方)の工場対応②売り上げ低下傾向における事業の将来性

③個人所有である老朽化した本社・工場の有効活用——の3点でした。

これら三つの課題におけるそれぞれの解決策は、①実際に工場見学を実施(対応可能と判断)②のれん代を加味し純資産額を若干下回る譲渡価額とする③本社・工場は1年間現状維持した後に退去——とすることで合意、懸念であった課題をクリア。持ち株比率の低いご子息の役員退職金額の工夫や譲渡価額も含め、売り手・買い手の双方が満足できる条件での株式譲渡を実現することができました。

当件は、会員先生を通じてM&Aの検討初期段階からご相談をいただいていたため、関与先企業様のご意向を十分に踏まえた上でご支援することができた事例といえます。会員事務所の皆さまにおかれましては、ぜひお早めにご相談いただきたいと思います。

(TKC中小企業事業承継支援部 中島 剛)

## 【ご相談窓口】まずは、お気軽にご相談ください！

- 株式会社TBC (旧社名：(株)Tomorrow's Business Creation)
- 代表取締役：大山 修
- 所在地：〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-6-6ヒューリック飯田橋ビル5階
- 電話番号：03-6265-6585
- TBC駐在TKC社員：佐々木 学、中島 剛、角園庸徳、山内克展
- お問い合わせ先：佐々木 学 sasaki.mnb@tb-creation.co.jp
- TKCグループホームページ紹介ページ <https://www.tkc.jp/jigyoshokei/shinzokugai/>
- TBCホームページ <https://www.tb-creation.co.jp/>(アイ・モバイル社「BESTホームページ」利用ホームページ)

